

今後の天候について

2017/7/20

株式会社ウェザーマップ

107-0052 東京都港区赤坂5-4-7 THE HEXAGON 5F

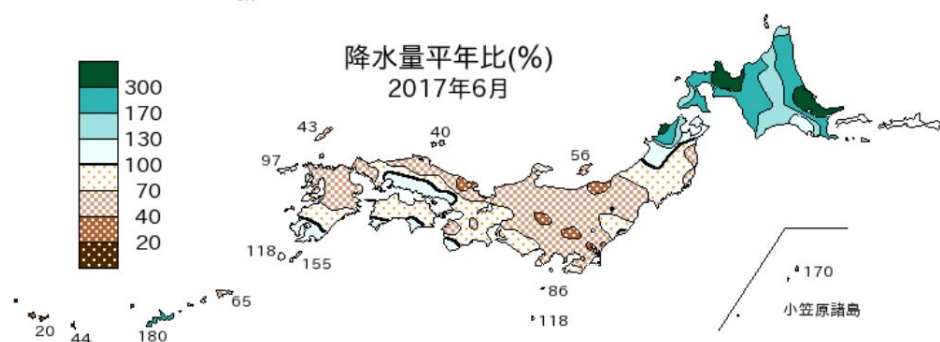
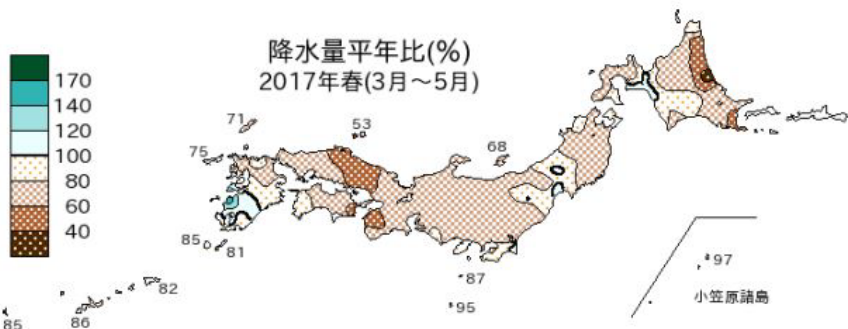
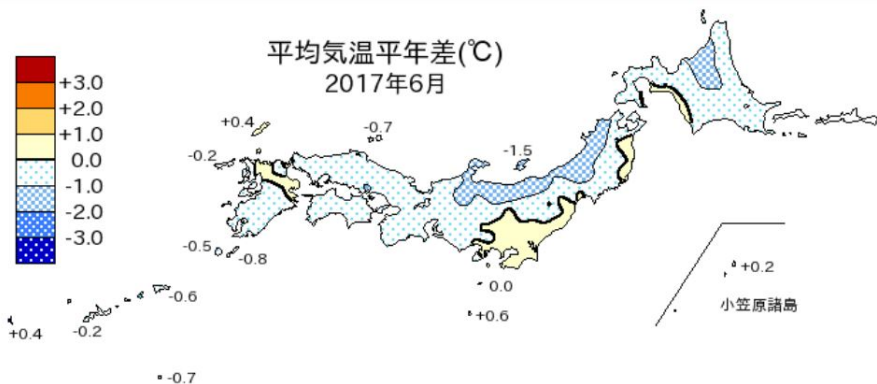
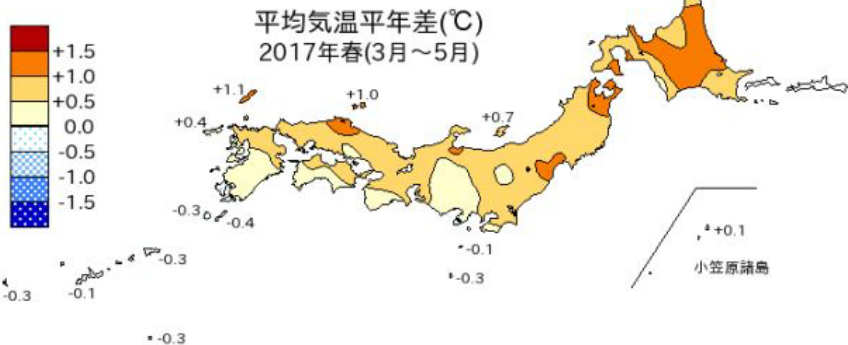
TEL:03-3224-1785/FAX:03-3224-1786

<http://www.weathermap.co.jp/>





2017年春～6月の天候



【3～5月】

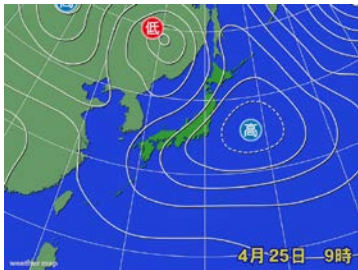
高温・少雨・多照

【6月】

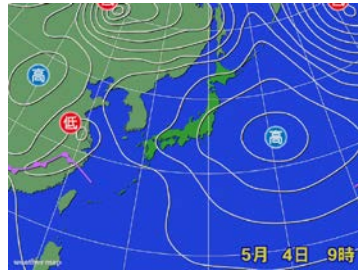
- ・西日本で気温が低く、北陸ではかなり低かった。
- ・東日本で日照多く、太平洋側で少雨。
- ・北日本で降水量がかなり多かった。
(低気圧通過)



2017年春～の気温変動(地域平均気温平年差の5日移動平均)



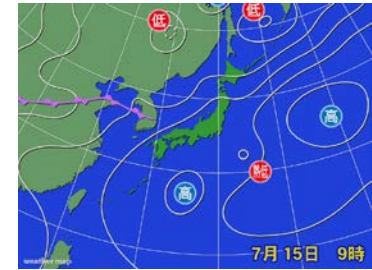
北日本で今年一番の暑さ



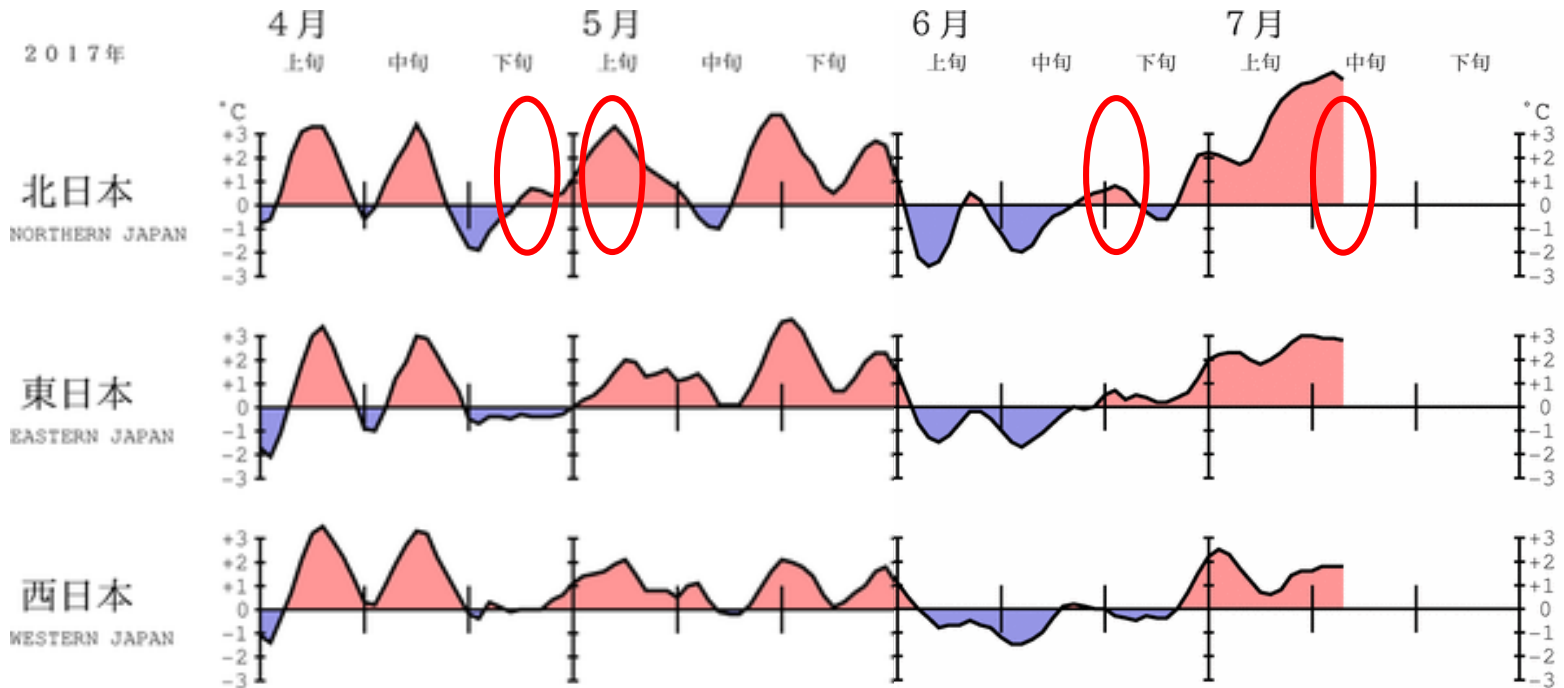
北海道で真夏日



北海道大雨 沖縄梅雨明け

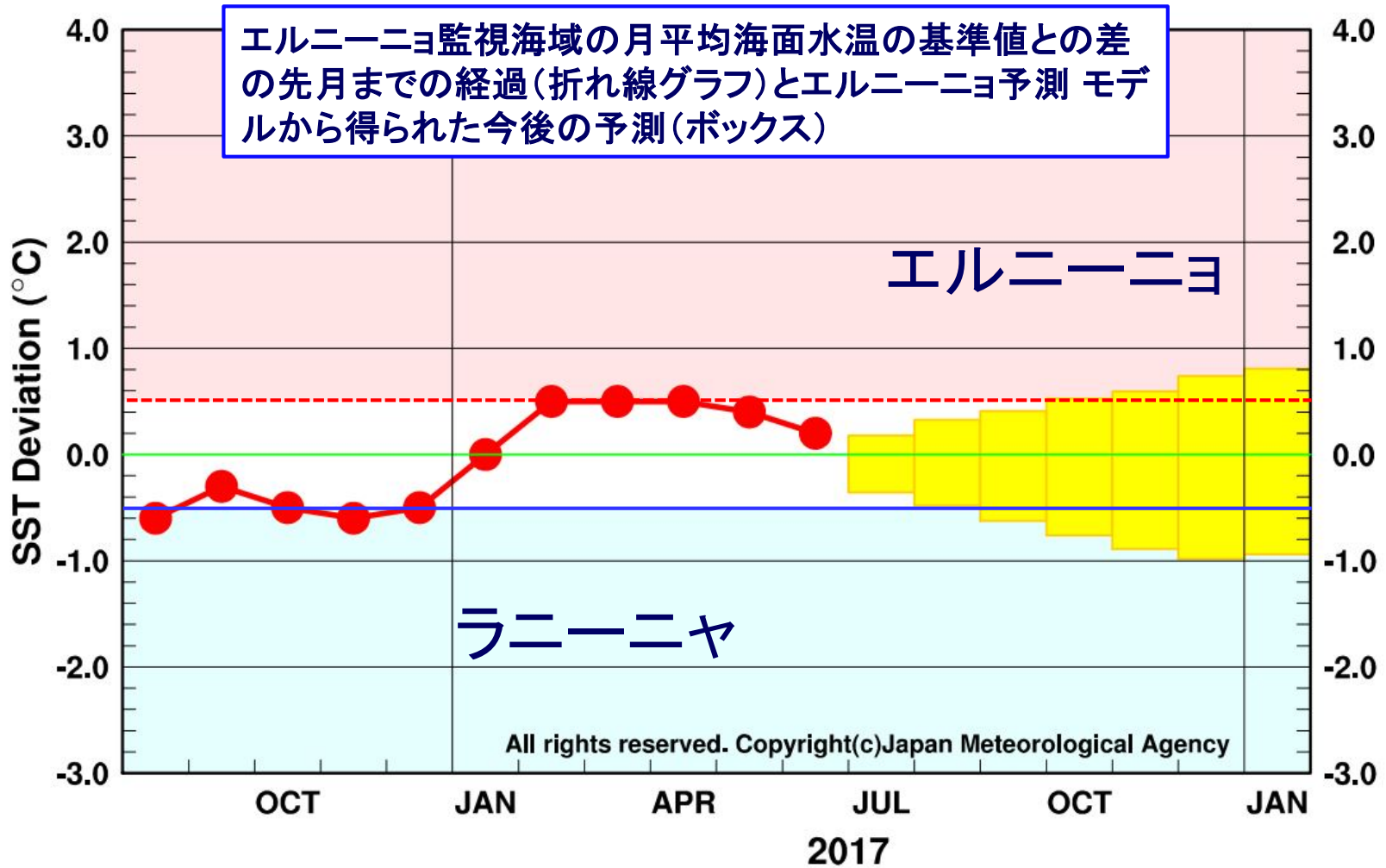


北海道猛暑 帯広37.1°C





エルニーニョ／ラニーニャ現象の経過と予測(2017/7/10発表)



エルニーニョ/ラニーニャ現象の経過と予測

- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態が続いている。**今後秋にかけて平常の状態が続く可能性が高い(80%)**。(7/10気象庁発表)
- 現在平常の状態が続いていて、年内は**平常の状態が続く可能性が高い**(7/4豪気象局発表)
- 現在平常の状態が続いていて、北半球の冬(2017/2018)の間は**平常の状態が続く可能性が高い(50~55%)**(7/13米気候予測センター発表)



7~9月の予報(平均気温)

	平均気温 7月	平均気温 8月	平均気温 9月
北日本	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み
東日本	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み
西日本	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み
沖縄・奄美	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み

数値は予想される出現確率です

平均気温 7月	平均気温 8月	平均気温 9月
低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) <small>以上 平年並も40 以上</small>	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) <small>以上 平年並も40 以上</small>	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) <small>以上 平年並も40 以上</small>



7~9月の予報(降水量)

		降水量 7月	降水量 8月	降水量 9月
北日本	日本海側	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み
東日本	日本海側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み
西日本	日本海側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み

↑

数値は予想される
出現確率です

降水量 7月

降水量 8月

降水量 9月

少ない
確率 (%)

50 40 40 50 多い
以上 平年並も40%以上 (%)

少ない
確率 (%)

50 40 40 50 多い
以上 平年並も40%以上 (%)

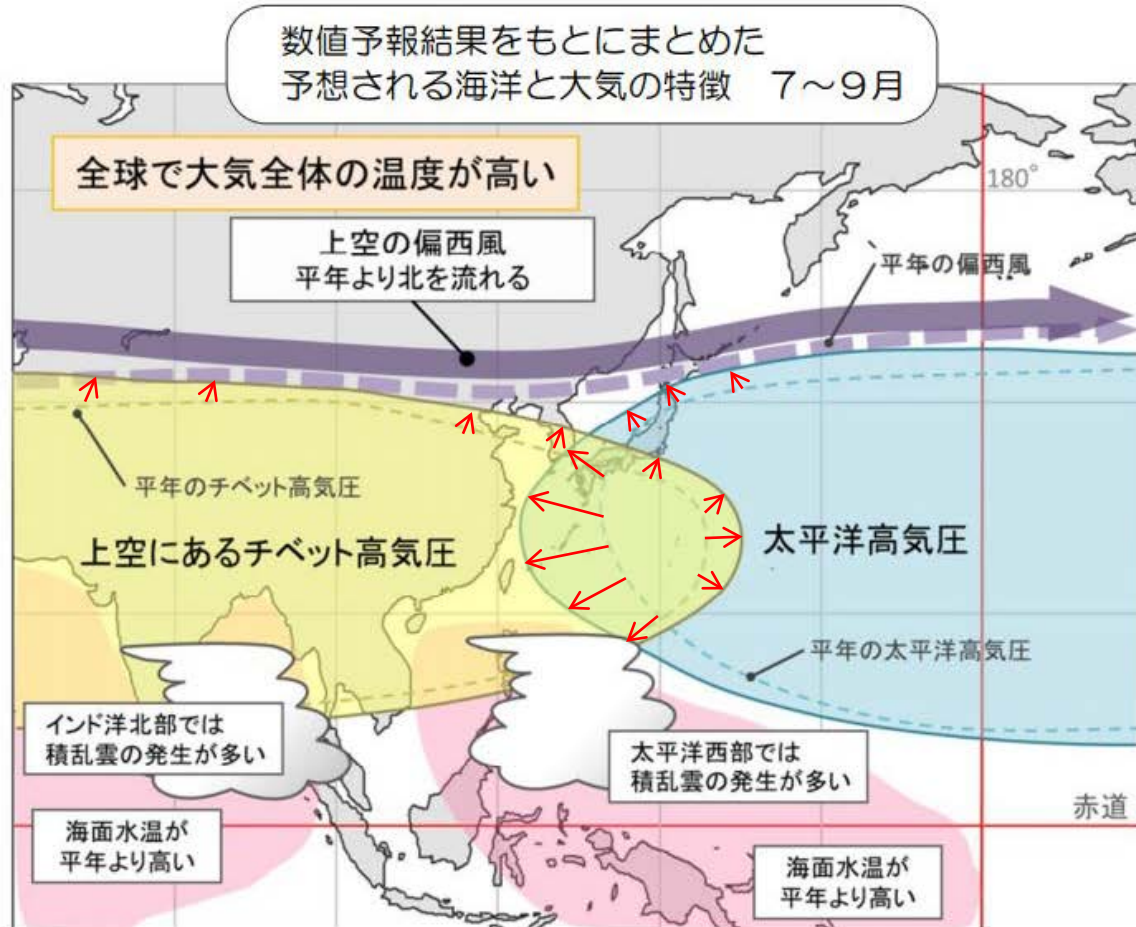
少ない
確率 (%)

50 40 40 50 多い
以上 平年並も40%以上 (%)



2017年7～9月に予想される大気の特徴

- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 熱帯の海面水温は、太平洋西部やインド洋北部で高い見込みです。この海面水温に対応して、太平洋西部やインド洋北部では積乱雲の発生が多いでしょう。
- この影響で、上空の偏西風は大陸から日本付近にかけて、平年より北を流れる見込みです。
- このため、太平洋高気圧およびチベット高気圧は、日本付近への張り出しが強い見込みです。また、西・東日本を中心に、湿った空気の流れ込みやすい時期があるでしょう。





「インド洋ダイポールモード現象」発生も示唆

- ・ **インド洋ダイポール現象**は、熱帯インド洋で見られる気候変動現象で、数年に1度、夏から秋にかけて発生。6月現在、正のインド洋ダイポール現象が発達中。(国立研究開発法人海洋研究開発機構)
- ・ インド洋ダイポール現象には正と負の符号があり、**正のインド洋ダイポール現象**が発生すると、**熱帯インド洋の南東部で海面水温が平年より冷たく、西部で海面水温が温かくなります**。この水温の変化によって、通常は東インド洋で活発な対流活動が西に移動し、東アフリカで雨が**多く**、インドネシアでは雨が**少なくなります**。また、熱帯からの大気の変動を通して、**日本では雨が少なく、気温が高くなる傾向がある**。



まとめ(～9月)

【気温】

- 太平洋高気圧とチベット高気圧が同時に強まり、8月にかけても記録的高温が出現する可能性がある。
- 9月にかけても全国的に高温が予想され、特に9月は平年を大幅に上回る気温が予想される。⇒厳しい残暑。

【降水量】

- 9月は降水量も多めと予想され、秋雨前線が活発になることが予想されます。
- 台風の発生については、日々の予報を確認する必要がある。

